

ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第64号 平成18年7月1日 発行

発行者 神戸婦人同協会 子供の家
社会福祉法人 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3
〒661-0974
tel 06 6491 2953 fax 06 6498 3444
支援センター (tel, fax) 06-6491-1811
E-mail (子供の家) info@kodomono-je.org
(支援センター) pandy@kodomono-je.org
URL <http://www.kodomono-je.org>

日々雑感

主任保育士

天方 洋江

子どもたちと一緒にいると日々新しい事をみせてくれ楽しませてくれます。一人として同じ子どもはいないわけで感じ方や表現方法も違います。何気なく時間を送っているよう。様々な情報を吸収しているのせいで。驚く質問をされることも少なくありません。うかつに返答ができないですね。その子どもが何を知らなくてその質問をしているのか、どんな風に返答すると納得し理解できるのか、私もいろいろと考えさせられます。それがまた楽しいです。ちょっとした緊張感を持って、子どもと向き合ってみて、「この子はどんな大人になるのだろう」と素朴に考えます。

毎日時間に追われ、起床から就寝まで一日の流れの中に埋もれがちな感覚ではないでしょうか。施設に入所してくる子どもは自分で選んで入所することはほとんどなく、親の事情、それだけで入所してきます。それに子供の家を選んでというわけでもありません。そんな子どもの人生の通過点に子供の家の生活があるわけですから、「嫌な思い出しはしたくないな」と思っています。私は日々子どもたちに楽しませてもらっ

ているのだから、子どもたちにも子供の家の生活を楽しんでもらいたいですね。選べなかったけど、子供の家であつた」と将来思ってもらいたいです。

男児フロアーの

職員の紹介

男児フロアーリーダー

副主任保育士 佐尾 千明

今年度は昨年から引き続きの職員と、男性指導員一名を迎え、新しい男児フロアーがスタートしました。泣いたり、笑ったり、怒ったり、共に喜び合う個性豊かなパワフルな男児フロアーの中で、新任職員を鍛え上げ、新たな即戦力になっていてもらいたいと思います。

また毎日手探り状態で子ども達を支援していく中で、今年度は「子どもとの関係を深め、子どもと共に成長をする」事を強化し取り組ん



でいききたいです。やんちゃな男の子が多い中、子ども達に負けないように男児フロアー一丸となって、パワーアップの一年にしたいと思います。

新しい職員の仲間入り

六月より子供の家で働くことになった藤井綾です。子どもたち一人ひとりとかわわつていく中で、一緒に楽しんだり、悩んだりしながら、成長していきたくと思っています。子どもたちに負けないくらいのパワーでいきたくと思っていますので、宜しくお願いします。



施設見学に行ってきた

子供の家では例年、施設見学をしています。今年は大阪市西淀川区にある自立援助ホームへ行ってきました。

近畿二府四県には大阪と京都しか

自立援助ホームはないようで、兵庫県にも一つもないというのが現状のようです。

「自立」を明確にし、児童養護施設とはまた違った形で社会的養護を實踐されており、共感できる部分や子どもたちに必要なスキルを支援するという視点においてとても勉強になりました。



ひらかたパークへ 行って来ました



六月十一日に幼児十名・担当職員七名でひらかたパークへ遊びに行つて来ました。大半の子どもたちが初めての遊園地であり、子ども向けの乗り物から急流滑り・お化け屋敷に

も挑戦し、怖がることなく楽しむことが出来ました。アンパンマンスタジアムにも入り、普段身近なキャラクターが目の前にいることをとても喜び、子どもたちにとってさらに身近に感じられる存在となり、思い出に残る一日になったと思います。

エキスポランド

遊園地日和になった六月十一日、レオクラブのお兄さん・お姉さんにエキスポランドへ連れて行ってもらいました。毎年六月にはレオクラブの方がエキスポランドへ連れて行って下さっているため、二、三回目の子ども、また初めての子ども、皆それぞれ胸をワクワクさせながら、出発しました。グループに分かれて行動し、次から次へとにかくたくさん乗り物に乗るチーム、ゆっくり園内を散策しながら乗り物を見つけて楽しむチームどの子ども皆一日たっぷ



り楽しむことが出来ました。

野球観戦

スカイマークスタジアム

六月十六日にオリックスバッファローズの吉井選手・光原選手から野球観戦の招待をしていただき今年度二回目です。試合はオリックス対阪神の関西ダービーで結果は三対六で惜しくもオリックスは敗れてしまいました。子どもたちは実際に選手達がプレーをするのを見ることができ、喜んでいました。ありがとうございました。



びわ狩り

六月十八日、園庭にあるびわの木のびわをみんなで収穫しました。一人ひとりが脚立に登り、「これは大きいなあ。」「これはオレンジ色だから絶対甘くておいしい。」「とバケツに入りきらないのびわを採りました。

た。収穫したびわを夕食で堪能し、来年も又たくさんのびわがなることを今から待ち望む子どもたちです。



編集後記

梅雨に入り、雨の日も多く、湿度が多い季節になりました。そんな、じめじめした空気に負けず、子どもたちは今日も元気いっぱいです。今回も子どもたちは、様々な行事を楽しんでいました。

さて、梅雨を越えると、夏はもう目の前です。幼稚園、学校などでも、プールが始まりました。子どもたちは職員に、「プールに船浮かべるねん」「明日のプール絶対入りたいから、てるてる坊主を一緒に作ろう」と嬉しそうにプールのことを話してくれます。

夏は開放的な気持ちになる季節です。職員一同、より一層、気を引き締めて、子どもたちと共に楽しい夏にしたいと思います (井上陽太)